

人と動物との調和のとれた共生を目指して（案）

背景

動物との絆と意識の変化

動物愛護推進への機運の高まり

動物に対する社会的理解の深まり

動物医療及び飼養水準の向上

課題

動物に関する苦情・問題の多発
飼養動物の逸走、危害及び非常災害等の危険性の増大

人と動物との共通感染症の危機及び社会的関心の増大
動物取扱業に対する社会的役割・責任の増大

基本理念

1. 都民との連携と協働の推進

飼い主責務の徹底と情報の提供

都民の健康と安全の確保

基本的視点

動物愛護の役割分担の適正化
動物に対する諸施策の連携

効果的な協働体制の整備
科学的根拠に基づく事業の展開

人材育成と民間活力の活用
危機管理体制の整備と情報の収集及び発信

具体的施策の展開

1 役割分担の適正化と協働体制の構築

地域における動物愛護の推進

- (2) 地域特性に応じた施策
- (3) 行政と地域社会との連携
- (4) 都民の参加と協働による動物愛護の推進

専門的・広域的施策の拡充

- (1) 動物取扱業者への対応
- (2) 適正な収容動物管理と返還・譲渡の推進
- (3) 調査研究による基礎的データの収集と科学的分析
- (4) 人材育成
- (5) 人の健康維持向上と福祉への積極支援
- (6) 動物シェルター機能の充実

2 適正飼養の推進

都民への情報・知識の提供及び支援

- (1) 都民の動物への理解の促進
- (2) 動物愛護教育の充実
- (3) 普及啓発媒体の効果的、効率的活用

動物取扱業者への啓発と指導

- (1) 適正な動物の取扱いに関する情報提供と支援
- (2) 自主管理意識の向上
- (3) 動物販売時の都民への飼い方指導の推進

虐待・遺棄防止への取組

- (1) 監視指導の強化と関係機関との連携
- (2) 普及啓発と調査研究

3 健康危機管理対策

逸走及び危害防止

- (1) 適正飼養講習会等の普及啓発事業の充実
- (2) 監視指導等による事故防止
- (3) 個体管理と所有の明示
- (4) 特定動物逸走時における危機管理体制の充実

人と動物との共通感染症の予防と蔓延防止

- (1) 発生時対応の充実・強化
- (2) 調査研究機能の充実
- (3) 関係機関との連携

緊急時対策

- (1) 発生時対応の体制整備
- (2) 発生に備えた体制整備

